

令和6年1月17日

保護者様

北九州市立白銀中学校  
校長 梅木 陽一

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	全体的に全国平均正答率を下回っている。特に、「書くこと・読むこと」の無回答者がいることと、正答率の数値から情報を読み取り、自分の考えをまとめることが難しい生徒が多いことがわかる。
数学	全体的に全国平均正答率を下回っている。特に、図形の証明や数学的な表現を用いて説明する問題では、無回答率が高かった。
英語	全体的に全国平均正答率を下回っている。特に「話すこと」の問題では全般的に無回答率が高かった。

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
①「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問は平均を上回っており、キャリア教育を軸とし、将来の夢や目標をもたせ、それらを行動に結びつけさせることが必要である。
②「朝食を必ず取る」、「朝決まった時間に起きる」と答えた生徒が全国を下回った。
③「自分には良いところがある」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」と答えた生徒が全国平均を大きく上回った。半面、「将来の夢や目標を持っていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦してる」、「最後までやり遂げるようにしている」と回答した生徒が全国平均を下回った。
④「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「友達と協力するのは楽しい」と回答した生徒が全国平均を下回った。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

・授業においては教え合いや学び合いを継続し、自分の考えを深めたり、広げたりできるように工夫する。さらに対人スキルアップ指導を積極的・継続的に行っていく。  
・ICT機器を活用し、ドリルアプリを朝自習や授業などに利用することで、個に応じた課題解決の取組を継続していく。  
・諸行事においては、生徒が企画や運営に携わり、主体的に取り組む態度の育成を継続していく。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

・基本的な生活習慣について、学習への啓発を行う。  
・予習の取組や単元末テスト、小テスト等を活用し、自ら課題を見つけ主体的に学習する習慣を身に付けていく。